

# 運動部だより

28号

明星中学高等学校  
運動部会発行

平成28年10月17日(月)

## 高校 野球

### 秋季東京都大会 無念の敗退

10月12日、八王子市民球場で行なわれた秋季東京都高等学校野球大会1回戦、明星高校は日大一高と対戦した。先発、坂本、捕手、渋谷。7回まで相手打線を無失点に抑えていたが7回の表、エラー絡みで1点を失う。明星は8回の裏、近藤がヒットで出塁、成田のタイムリーで同点とした。9回終わって1対1、延長戦へ入る。11回の表、ここまで力投する坂本だったが痛恨の一打がセンターオーバーとなり1点を失い決勝点となった。2対1、悔しい敗戦となった。11回を戦い、何度もチャンスはあった。3塁まで進塁するチャンスも2回、しかし、ここぞと言うところで1本が出ず惜敗となった。次こそはと心に誓う。

## 中学女子 硬式テニス

### 新人大会 順位決定戦

10月16日、有明テニスの森コートで都大会新人戦順位決定戦が行なわれた。先週、関東大会出場を決めた東京ベスト8による順位決定戦、明星は1回戦、早稲田実業と対戦した。早稲田実業中学は今年の夏、全国大会に出場している強豪、何回か対戦しているが互角、五分五分、監督もお互いの手の内を探る。早稲田実業は、先週まではシングルスにエースと2番手を置いて戦うシングルス2勝を狙う戦法だったが、この日は動いてきた。ダブルス2にエース、ダブルス1に2番手を、今までのダブルスの組合せを崩してきた。もしかしたらこれが早稲田実業の本当のメンバーなのかもしれないが、明星と対戦する為に選手の組合せを変えた。明星恐るべし、相手監督の考え抜いた作戦なのだろう。全国を狙う監督が明星に一目置き作戦を立てた。明星が認められた証拠とはならないか。ダブルス2、荒木・佐野ペアから試合開始、荒木が粘り佐野が喰らいつくがボレー、スマッシュを決められ敗戦。ダブルス1、青木・池亀ペアも相手ペースを崩せず敗戦。2敗。あとが無くなりシングルス、中崎・蝦名が同時に試合を開始した。蝦名は順調に得点を重ねるが中崎は緊張と重圧で普段どおりのプレーが出来ないように見えた。蝦名は勝利、中崎は敗戦。1勝3敗で団体戦敗戦となった。悔しい敗戦。しかし、注目され、研究され、準備される、明星が成長している証だ。もっともっと強くなろう。関東大会でこの悔しさを晴らす。大きな声を出して頑張る事を誓う。

## 中学 陸上

### 中学校支部対抗陸上競技選手権

10月15日・16日、駒沢オリンピック公園陸上競技場にて第69回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会が行われた。明星からは3名が選ばれ、府中市の代表として出場した。3名が4種目に出場したが予選突破はならなかった。佐藤監督は「良い経験をしました。杉浦はペースの駆け引き、今平はポジション取りで体力消耗、自分のベストを出せませんでした。塚口は病み上がりでしたがしっかり調整リレーでは良い走りを見せてくれました」と話された。冬、長距離のシーズン、府中代表になった選手達を中心にさらなる飛躍に期待。

塚口 100m 11秒88 予選3位                      杉浦 3000m 10分19秒21 予選14位  
今平 1500m 4分46秒14 予選8位      4×100mリレー 塚口 第1走者 予選3位

## 中学男女 ハンド

### 府中市民大会

10月15日、明星グラントで府中市民大会3年生最後の大会が行われた。男子3年生、西村・小宮山・本坂・森嶋・村山の活躍で府中3中に勝利、府中4中に勝利し府中市優勝を手にした。女子3年生、堤・夏莉・吉永・八巻の頑張りで府中3中に勝利、決勝戦で府中4中と激突、あと一步と相手を追い詰めるが惜敗、準優勝となった。3年最後の大会、男女共に優秀の美を飾った。頑張った3年生に拍手を贈る。ご苦労様でした。高校でも頑張ってください！！

### 女子都大会新人戦1回戦

10月16日、府中第3中学校で都大会新人戦1回戦が行なわれた。15日の3年生の最終戦、府中大会準優勝へ続けと燃えたが、部員は堀・村野・小林の3人しかいない、テニス部の磯沼・栗田・井上に助っ人を頼んだ。それでも1人足りない。6人で戦った、磯沼が1点を取った、悔しい敗戦、助っ人の3人に頭を下げた、ハンドボールが好きだ、次は勝ちたい、仲間が欲しい、先輩達のように強くなりたい、3人の挑戦は続く。頑張るぞ！！

## 中高男女 剣道

### 府中市民大会 中学男女優勝

10月10日、郷土の森総合体育館で第59回府中市民大会が行われた。中学個人戦では男女アベック優勝、男子決勝では明星中学同士の対戦となり1・2位独占となった。女子団体戦3人制、明星は小松・港の2名で出場。孤軍奮闘、2人で勝ちあがり準優勝を手にした。一般の部に出場した高校生は一般男子三段の部で力武が堂々の3位。団体戦では女子が4位となった。日頃の稽古の成果、切磋琢磨、明星中学・明星高校の実力を見せ付けた。

<b>男子中学3年生の部</b>	優勝	松本	準優勝	沢井
<b>女子中学3年生の部</b>	優勝	小松		
<b>一般男子三段の部</b>	3位	力武		
<b>団体戦中学女子</b>	準優勝	港、小松		
<b>一般女子</b>	4位	川田、松本、峯尾、横山		

## ★私はミタ スポーツマンシップ

高校硬式テニスの公式戦では「セルフジャッジ」というルールがある。自分で相手ボールを「アウト」「イン」を宣言する。錦織のメジャー大会では何人もの審判がいてもビデオ判定がある。ジャッジに不満がある時はチャレンジを申し出るとビデオ判定となる。テレビでスローで流れるボールの落下地点を見た人もいるだろう。アマチュア、まして高校生ならビデオ判定は出来ないだろうが、セルフジャッジには不満・不評も多い。明星の選手の試合でもその様な場面が何回かあった。「コート責任者に連絡して裁定を上げ」応援団から声が漏れる。監督が選手に声をかける。選手は「大丈夫です。勝ちます」と断った。文句は言わない。不満は言わない。そんな姿に感動。私ミタ！！ カッコイイ女の姿 正々堂々 戦う姿 清楚、あらためて言う。私はミタ！！ 正々堂々頑張る明星の選手の姿を！！頑張れ負けるな！！

## 中間テスト エンジン全開 負けるな！